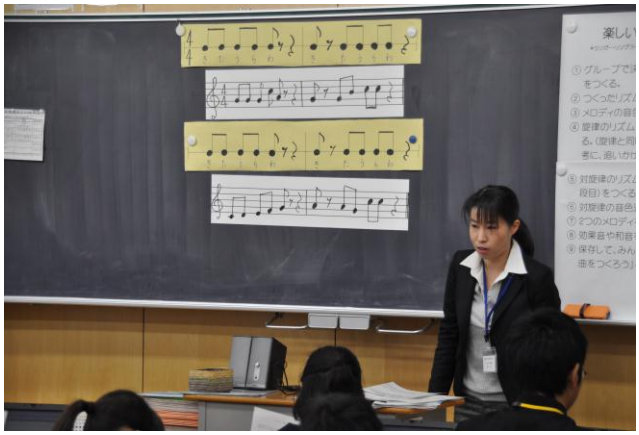
さいたま市立浦和中学校１学年　音楽　「楽しいリズム曲をつくろう」

音楽制作ソフト「シンガー・ソングライター」を活用した創作指導

１　単元名：(楽しいリズム曲をつくろう)　「駅名をもとにしたリズムを使って駅発車メロディをつくってみよう」
２　活用場面：音楽授業
３　活用のねらい：
　①　音楽制作ソフト「シンガー・ソングライター」を使い、自分のイメージに合う楽器選択ができる
　②　試作メロディをその場で聴いたり、改作したりすることが容易である
　③　共用ネットワークを活用することで、互いの作品を鑑賞し合うことができる



４　活用のポイント

（１）音楽経験の程度に関係なく創作ができる

〇家庭や小学校での音楽経験に関係なく、ゲーム感覚で音符を入力することが可能である。また、豊富な音源を選び、自分のイメージにより近い音色を探して創作することができ、自分が演奏したことのない楽器や、学校備品にない楽器を使った創作も可能である。また、生徒の演奏技能の程度によらず、すぐに完成した演奏として聴きながら創作することが可能である。
〇記譜が紙よりも容易である。読譜や記譜の指導を並行して行うことができ、まず音符の書き方を習得してから創作、ではなく、作曲の楽しみを早い段階で感じ取ることが可能である。

（２）作品の共有や鑑賞が可能である

〇校内ネットワークを利用し、生徒同士の作品鑑賞が容易にできる。一斉授業で１つの作品を聴くのではなく、個別にパソコンを使って鑑賞することにより、より多くの作品を鑑賞し、互いの作品にコメントを送ることも可能である。
〇作品の保存が容易であり、コンピューター上に保存された曲を、継続的に振り返って聴くなどの活用も可能である。
〇同じソフトを用いれば、他の場所に楽譜と音源を移動したり発表したりすることも可能である。

５　成果と課題

〇パソコンによる創作活動は、生徒の興味・関心が高く、飽きずに制作を続けることができた。
〇パソコン操作によって「保存されていなかった」等のトラブルがあり、紙など他の記録媒体に保存していなかったため、なくなってしまったデータは記憶に頼らざるを得ず、結果的に新たに作り直す必要があった。そのような場合も想定し、こまめにアイデアをメモするなどの対策を行っておく必要がある。